



# 御神船

「御神船」とは、伊達藩の時代、物資流通や大漁祈願の海渡りに活躍した船が称賛されて「御神船」と呼ばれるようになりました。

2026  
(令和8年)  
1  
月号

不許複製：禁無断転載・引用

Vol.241 仙水グループ広報

仙台水産ホームページ [www.sendaisuisan.co.jp](http://www.sendaisuisan.co.jp)

## 謙虚な姿勢、チームワークで 飛躍期し仙水グループ新年会

仙水グループは1月10日、江陽グランドホテル（仙台市青葉区）でグループ24社の役員総勢295人による仙水グループ新年会を開催し、さらなる飛躍へ決意を新たにしました。



▲あいさつする本田社長（奥壇上）

冒頭、本田誠仙水産社長が年頭のあいさつに立ち「一年明けも厳しく困難な商環境が続く。しかし困難は自分を成長させる課題。もう一度基本に立ち返り、謙虚な姿勢で決して過信、慢心、驕ることなく、チームワークで乗り越えていこう。お客様に本当に喜んでいただけることは何か？をとおとん追求し、地域になくはない仙台市場、仙水グループを皆さんとともに実現していこう。本年も明るく、楽しく、

元氣よく、そして前向きに頑張ろう」、ホールディング会社の石森克文仙水産社長は、各社業績に言及後「世界の政治・経済には何やらききな臭い動きが感じられる。しかし、環境がどう変化しようが食は永遠。毎日欠かさず食べる食卓の上に我々の取り扱う商品をチョイスしてもらえよう、お客様とともに知恵と工夫を凝らし互いが成功できるようにしてグループ発展につなげよう」とあいさつしました。

乾杯は伊藤真仙水産社長が「本年も明るく元気に楽しく、グループ一致団結して頑張ろう」と発声し祝宴に入りました。宴では全社長らが登壇して一言ずつ新年の抱負を述べ、中締めは仙水産物仲卸協同組合の山口清一理事長が手締めを行いました。会は、グループ24社の役員が一堂に会し、親睦を深めるとともに新年の門出をなごやかに祝いました。

## 初セリ「大間まぐろ」で県外解体ショー 「縁起マグロ」の売れ行き大好評！仙台サバキ女子

仙台サバキ女子は1月5日午後、秋田県内のスーパーマーケットで、仙台卸売市場の初セリまぐろで解体ショーを行い、来店されたお客様に魚の消費喚起を行いました。

1月5日早朝、仙台卸売市場で水産物部の業務開始式が行われました。その初セリで競り落とさ

れた、124kgの青森県大間産クロマグロが当日午後、秋田県内のスーパーに仙台卸売市場から直送で持ち込まれました。

赤い色は生命力と情熱、大きな体は豊かさを表わし、縁起が良いとされています。豪華なマグロは新年の食卓を華やかにし、豊かで良い一年を願う「縁起マグ

ロ」とも呼ばれています。店側の予告宣伝もあり、来店客がすぐさま見物人となり大勢の人だかりがで



▲始まる前からステージ前に人だかりができた

きました。今回は、秋田のご当地サバキ女子二人と仙台サバキ女子の二人が担当。ご当地女性MCにも解説やクイズ、じゃんけん大会で盛り上げていただき、マグロの売れ行きは大好評でした。この解体ショーの様子は、地元ABS秋田放送でその盛況ぶりが放映されています。



## 仙台丸水配送 運輸部 早坂 渉さん

入社して一年が経ち、仕事にも慣れてきました。が、責任感を高く持ち、丁寧で確実な仕事を心がけています。雪の季節は安全運転で頑張ります。



## 仙台水産 養魚部養魚課 次長 庄司 真文さん

最近、月日の経つのが早いと感じる今日この頃。"みんなの幸せそれが私の幸せ"を今年のテーマに、日々の仕事に取り組みでまいります。



## 仙水センター 業務部 サプوتاプラサントさん

ネパール出身。皆さんにやさしく仕事を教えていただいています。仲間との協力、責任ある行動。会社の信頼に応え、貢献できるように頑張ります。



## 仙水フーズ 技能実習生 ゴー ティタイさん

私の名前はゴーティタイ。2022年11月、ベトナムから来ました。今年34歳で子どもは二人です。仕事と日本の生活にはすっかり慣れました。



## 鈴力水産 管理部 佐々木 美樹さん

ちとアイリッシュジュセッターと賑やかに過ごしています。育児と仕事の両立で大変ですが、働いて働いて参ります！



## 仙水センター 業務部 パタク スバスさん

母国はネパール。この会社で働けてとても幸せに思います。皆さん親切で何かと積極的です。そして全ての社員はお互いを尊重し助け合います。

### 水分は健康にとっても大切 健康コラム No.41

皆さんは、一日どのくらいの水を飲んでいるでしょうか？  
健康やダイエットにおいて水はととても大切です。

ジュースやお酒は飲め（けっしょう）と呼ばれるけれど、水は意識を液体でできており、血漿を悪くするのみならず、多いと飲めないという方の91%以上は水分。従って血流をスムーズにするをたくさん飲むと、血流には水分が欠かせません。また、体内の毒素や酸素や栄養素がスムーズに運搬されます。血流が促されるで基礎代謝が高くなり、エネルギー消費量が増加します。

新陳代謝が活発化し脂肪燃焼のサポートにつながります。

美容を意識しながらダイエットに取り組みたい方は、お水を積極的に摂取しましょう。



### フジテレビが女性セリ人 村田さんを放映

仙台水産で20年ぶりの女性セリ人となった村田実優さんが、12月30日のフジテレビ・関東ローカル番組で放映されました。

村田さんは入社3年に喋ってくれる方が多く。昨年6月から、近海「い」と話しています。特種部の女性セリ人として活躍しています。番組同期との語らいの中からは頑張ろうと思ったり、では村田さんが、仕事の同期男子が強く怒られた手順を話したあと「最初は話しかけてもらえずひたすらあいさつを繰り返していた」と話し、「その内に相手からあいさつしてくれるようになり、今では打ち解けて気さく皆が応援しています。



▲「かっこいいセリ人を目指す」と話す村田さん

## ムッシュのおさかな道場

1月16日夕方、ミヤギテレビの人気情報番組「OH! バンデス」の「ムッシュのおさかな道場」。石巻市出身「ほやドル萌江さん」と賑やかな掛け合いで番組が進行。今回の海の幸は「タラ」。タラの身は脂肪分が少なく淡白な味。東北の冬の鍋料理には欠かせない白身魚です。レシピは寒い冬にピッタリ! 「ホクホク食感のタラと根菜のすまし汁」です。



▲ホクホク! タラと根菜のすまし汁

## 「タラ」を食べよう!

仙台水産営業企画部の御簾納さん担当「魚知(うおっち)」。1月号は「タラを食べよう」。雪の訪れとともに最盛期を迎えるタラ。脂肪分が少なく、淡白な味わいで東北ではなじみの魚。煮ても焼いても、蒸しても、揚げても、おいしくいただける万能食材です。今回は「タラとじゃがいものフリッター」です。



▲タラ揚げて サクふわ食感 いい肴

## 「女性の活躍」を仙台放送が特番で放映

12月20日10:25~仙台放送テレビの情報番組「あらあらかしこ」(毎週土曜放送)で、仙台水産の女性セリ人と仙台サバキ女子の活躍の様子が約10分間放映されました。同局の門間陸斗新人アナの「フレッシュ通信」コーナーで、20年ぶりの女性セリ人となった近海特種部の村田実優さんと、マグロ解体ショーを通じて魚食普及を図る仙台サバキ女子のリーダー神林葉子さんから女性の活躍にスポットを当てた特番で紹介されました。

門間アナは「フレッシュな海の幸を流通させるセリ人、宮城のマグロのおいしさを伝えたいと活動する仙台サバキ女子の皆さん。市場の皆様のお陰で私達の生活が成り立っていると実感した。私もアナウンサーとして宮城の海の幸をしっかりと伝えていく」とのコメントが印象的でした。



セリ人として活躍する村田さん 仙台サバキ女子メンバー

## 宮城の年取り魚「ナメタガレイ」とセリ鍋提案

仙台卸売市場に北海道産ナメタガレイが順調に入荷する中、仙台あおば青果様と共催で12月23日早朝、ナメタガレイと宮城県産「ちぢみほうれん草」と「せり」の試食提案会を開き、消費拡大をアピールしました。

ナメタガレイの一大産地、北海道からの入荷が11月中旬から本格的に始まり、当日も道東などから刺し網漁で漁獲された約10トが入荷。会場では子持ちナメタガレイの姿煮と切身などが展示され、試食として、ちぢみほうれん草を添えたナメタ煮付けとセリ鍋220食が小売店や仲買人らに振る舞われ、好評を博しました。

北海道ぎょれん仙台営業所の安封(あぶ)良平所長も来場され「冬の魚なので楽しんでもらえれば」とアピール。



▲潤沢入荷が続く北海道産ナメタガレイなどを提案

## 今月の旬のお魚 No.82

### 海藻



▲旨味も栄養もたっぷりのメカブ

市場の取り扱いNo.1 海藻といえば「メカブ」。宮城県の水揚げはこれから本格化します。メカブは、ワカメの根元にある「胞子葉」と呼ばれる部分。生殖をつかさどる器官なので、旨味も栄養もたっぷり含まれています。

メカブの特徴であるネバネバの主成分は、食物繊維であるアルギン酸やフコイタン。免疫力の向上や胃腸の粘膜保護、体の調子を整える効果が期待されています。飲みすぎってしまったときや、体調を崩しやすい今の時期が特におすすめです。

温かいご飯の上にかけてかき込むのはもちろん、すすって食べる麺類との相性は抜群! 簡単な和え物でも美味しいので、旬のメカブを皆でおすすめしましょう!

2月度メディア情報 《番組出演》2/13(金)16:20~ミヤギテレビ OH! バンデス「メカブなつとうの和風まぜそば」

《雑誌掲載》1/28(水)発行 情報誌りらく2月号「まるで鶏肉!? めかじきの油淋鶏(ユーリンチ)風炒め」

※詳しくは仙台水産営業企画部まで

### 商売繁盛祈願し業務開始式

新年恒例の水産物部業務開始式が1月5日午前6時半から仙台卸売市場で行われ、行政や市場関係者などが参加し一年の商売繁盛を祈願しました。

業界を代表し本田誠仙台水産社長は「魚食文化普及と、地域社会に貢献する地域になくてはならない仙台市場とともに目指したい」と決意を述べました。



▲業界代表としてあいさつする本田社長(右端)

### ゆりあげ港朝市で祈願祭

「ゆりあげ港朝市」の新春初市祈願祭が1月1日早朝、名取市閑上の朝市会場で開かれ新鮮な海産物を買求める家族連れらで賑わいました。メイプル館前に2025大阪・関西万博の「CANADA」サインを移設。支援していただいたお客様に感謝しようと、閑上太鼓の披露やお雑煮のお振る舞いも行われました。



▲櫻井理事長の玉串奉奠、本田社長(右から2人目)

### 新車大型冷凍車2台納入

仙台丸水配送にエアロール装着の大型冷凍車2台が納車されました。この車両は荷役作業の省力化に効果があります。担当の庄司克美さんは「責任を感じる。担当路線の効率化、拘束時間の短縮が実現できたら趣味の果実栽培に時間を使いたい」と話しています。



▲新車の大型トラック2台が納車された12/20

## 令和八年 仙水グループ新年会

### フォトレポート

仙水グループの経営理念「豊かな食を創造し、地域社会に貢献します」を実現するためにグループが一致団結！「お客様に喜んでいただく」を基本に明るく、楽しく、元気に、そして前向きに挑戦してまいります。



▲乾杯発声する伊藤真仙台食品社長

### 令和八年 仙水グループ新年会



▲新年の抱負を述べる小笠原仙台丸水配送社長



▲各テーブルを回る石森仙台商産社長(右上)

### 令和八年 仙水グループ新年会



▲新年の抱負を述べる鈴木仙台宮水社長



▲品位を保ち、朗らかに新年を祝う若手社員

## コンプライアンス推進室から No.68

### 酒を飲んだら自転車に乗らない！

飲酒運転は悪質な犯罪。道交法上、自転車は「軽車両」です。自転車の酒気帯び運転や、ながらスマホなどの厳罰化に伴い悪質運転を理由に自動車の免許処分を受ける人が全国的に急増しています。仕事を続けていくためにも、家族や会社を守るためにも自分自身の意識改革が必要です。

#### こんな運転も禁止！

- ×自転車の「ながらスマホ」⇒6か月以下の拘禁刑又は10万円以下の罰金
- ×傘さし運転⇒5万円以下の罰金等
- ×イヤホンやヘッドホン使用で音が聞こえない運転⇒5万円以下の罰金
- ×2人乗り⇒5万円以下の罰金



危ない！ながらスマホ

ハラスメント(セクハラ、パワハラ、マタハラ、カスハラ等)一人で悩んでいませんか？

窓口⇒CSR本部コンプライアンス推進室 090-3129-8914 後藤まで、早めの相談を！